１２月４日　　**テーマ：「信仰告白」**

聖書個所：ローマ人への手紙１０章９節～１０節

◆今日のみことば

> 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。
>
> ローマ人への手紙１０章１０節

◆メッセージ

何かをがんばってできるようになったことはありますか。がんばって練習して、自転車に乗れるようになったり、鉄棒のさか上がりができるようになったことがあるかもしれません。でも、がんばってもどうにもできないことがあります。それは私たちの「救い」です。どうすれば救われるのでしょうか。どうすれば、神さまの子どもになり、「永遠のいのち」をいただき、いつまでも神さまといっしょに生きることができるのでしょうか。ある人はこう考えます。〈まじめに生きていればいいんだ〉またこう考える人もいます。〈ずっと教会に通っていれば救われるんだ〉またある人は考えます。〈きまりを守って、いい子にしていれば救われるんだ〉。

でも、聖書が教えていることは、自分の力で罪をゆるされ、神さまの子どもとなり、永遠のいのちをいただくことができる人は一人もいないということです。なぜなら、私たちは神さまから離れた罪人だからです。それはちょうど、深い穴ぼこに落ちた人に似ています。穴ぼこに落ちた人は、誰かに助けてもらわなければ、穴から出ることはできません。それと同じように、罪人である私たちはどんなにがんばっても、自分の力で自分を救うことはできないのです。

私たちを救うことができるのは、神さまだけです。イエスさまは主（神さま）です。イエスさまはあなたを救うために十字架に架かって死なれ、三日目に死者の中からよみがえってくださいました。

だから私たちに必要なことは、イエスさまが死からよみがえられた主（神さま）であると信じ、イエスさまを心から信頼すること。信じたことを自分の口で言い表す（告白する）ことです。教会で洗礼式を見たことがありますか、洗礼は神さまへの信仰を口で言い表す（告白する）すばらしい時です。

いまあなたは、イエスさまが死からよみがえられた主（神さま）であることを信じていますか。イエスさまに心から信頼していますか。もっといい子になってから、とか、もっと大人になってから、なんて考えなくていい。そのままの姿で信じてよいのです。

◆お祈り

イエスさまは主（神さま）ですと心から信じることができますように。信じたことを口で言い表すことができますように。

（長良キリスト教会牧師　沖野　毅）